

**広 島 大 学**  
**「国際サステナブル科学リーダー育成システム」**  
**テニュアトラック教員の公募（第1期）**

広島大学は、循環型持続的社会的基盤の形成に貢献する「サステナブル科学」研究分野（物質・材料科学、生命科学、地球環境科学の学際融合領域）の国際拠点の構築を目指しています。このたび、「国際サステナブル科学リーダー育成システム」事業が文部科学省の科学技術振興調整費「若手研究者の自立的な研究環境整備促進」プログラム（2010年度から2014年度まで）に採択されたことを受け、革新的かつ創造的に研究・教育を展開できる若手リーダーの育成を目指して、テニュアトラック制度を導入します。

「物質・材料科学」、「生命科学」、「地球環境科学」のいずれかの分野で深い研究知識・能力を有し、他の関連分野との知の交錯を可能にする柔軟な思考力、循環型持続的社会的基盤の構築に不可欠な国際センスを持って、サステナブル科学の開拓を目指す若手研究者を公募します。第1期公募（2010年度採用）から第5期公募（2014年度採用）まで、各年度2名ずつ、合計10名の若手研究者を採用する予定です。

### 1. 募集分野

第1期公募では、上記の3分野のうち「物質・材料科学」、「生命科学」を専門分野とする若手研究者をそれぞれ1名ずつ募集。「物質・材料科学」においては、新機能物質・材料のデザイン・創成・機能開拓、「生命科学」においては生態系構築原理の解明と生物の機能開発を推進することによって「サステナブル科学」の構築に貢献できる方を期待。

### 2. 募集する職種、人員及び所属

- ①職種：特任教員（テニュアトラック講師）
- ②人員：2名
- ③所属：広島大学サステナブル・ディベロップメント実践研究センター（以下「センター」という。）

### 3. 応募資格

以下に掲げる条件をすべて満たす者。

- ① 原則として、2010年4月1日時点において、博士号取得後3年以上10年以内の研究者で、上記に示すサステナブル科学の構築に向けて革新的かつ創造的な研究を推進する者。
- ② 英語によるコミュニケーション能力を有すること。
- ③ 日本語又は英語による大学院生への授業ができること。

### 4. 雇用条件等

#### 1) 任期

2010年11月1日以降できるだけ早い日から2015年3月31日まで。なお、遅くとも2011年3月1日までは着任すること。

#### 2) 給与等

- ① 給与については、年俸制（諸手当及び退職手当を含む）を適用し、年俸の12分の1を毎月支給（月中の採用・退職の場合は、日割り計算で支給）。採用時及び翌年度の年俸（600万円～900万円）は本人

の経歴等を勘案の上、本学規則により決定するが、2012年度以降の年俸については前年度の業績評価を踏まえて決定。

- ② 保険については、健康保険（共済組合）、共済年金、雇用保険及び労働災害保険に加入（保険料等は法律に応じた率で個人から控除、事業主が負担）。

### 3) 勤務条件等

- ① 就業に当たっては、広島大学の諸規則を適用。
- ② 勤務場所は、広島大学の東広島キャンパス。
- ③ 勤務形態については、1日7時間45分、週38時間45分勤務とするが、専門業務型裁量労働制を適用し、所定の勤務日に勤務した場合は、1日7時間45分勤務したものとみなす。
- ④ 出産、育児等に関する休暇・休業制度あり。

### 4) 業績評価

センター学際融合領域研究部門審査委員会が、下記によりテニュアトラック講師の業績評価を行う。

- ① 毎年度3月にテニュアトラック講師が提出する研究・教育実績に関する書類により業績評価を実施。
- ② 2013年3月頃に中間評価を実施。中間評価は、①の研究・教育実績に関する書類に加え、面接審査（英語によるプレゼンテーション及び質疑応答）により行う。この中間評価において、極めて高い評価を得たテニュアトラック講師は、下記5)に示すテニュア審査へ進む。
- ③ 2014年9月～10月頃に最終評価を実施。最終評価は、研究・教育実績による書類審査及び面接審査（英語によるプレゼンテーション及び質疑応答）により行う。この最終評価において、評価基準を満たしているとの評価を得た全てのテニュアトラック講師は、下記5)に示すテニュア審査へ進む。

なお、この最終評価において高く評価されたものの評価基準に達しなかったテニュアトラック講師については、センター学際融合領域研究部門企画支援室が外部研究機関ポストへの斡旋を働きかけ、その間は最長1年の雇用延長を行う。

- ④ 上記①から③における研究・教育実績の評価は、「卓越性」、「自立性」、「協調性」、「国際性」という4つの観点から行う。

### 5) テニュア審査

テニュアトラック講師は、テニュア教員として所属を希望する大学院研究科の選考委員会による審査を経て、専任のテニュア教員（任期なしの、准教授又は教授）に採用される。

※ 日本語能力が不十分な者は、主要な言語を英語として、研究・教育活動を行っていくことができるが、テニュア教員に採用されるためには、最小限の日本語による研究教育能力の習得が求められる。

## 5. 職務

- ① テニュアトラック講師として採用後に提出する研究計画書に基づく研究活動。
- ② 外部資金の積極的な申請及び獲得。
- ③ 研究論文の発表。
- ④ 国際会議を含む学術講演会での発表。
- ⑤ 大学院生の授業及び研究指導の分担。
- ⑥ 国際ワークショップの企画立案、センターが主催又は共催するシンポジウム等への参画。
- ⑦ 本学が実施するファカルティディベロプメントを受講。
- ⑧ その他、センター学際融合領域研究部門長が必要と認めた業務。

## 6. 研究環境等

### 1) 研究スペース

テニュアトラック講師一人当たり、50 m<sup>2</sup>程度（居室、実験室等）。改装費用は、本学で負担。

### 2) 共通機器

- ① テニュアトラック講師がサステナブル科学の研究を行うための共通機器として、次の機器を設置。
  - ・三次元形状測定レーザーマイクロスコープ
  - ・高速液体クロマトグラフィ／四重極型質量分析システム
- ② 自然科学研究支援開発センターの各種分析・低温実験機器など、必要に応じ本学の学内共通機器を利用可能。

### 3) 研究資金

テニュアトラック講師一人当たり、スタートアップ資金（1,000 万円／研究計画により初年度及び次年度に分割して措置する場合もある）を措置するとともに、2011 年度以降は毎年度、経常的研究資金（最大 200 万円）を措置。なお、これらの研究資金は、本学の規則等に基づき適正に使用しなければならない。

### 4) 人的支援

- ① ポスドク等による研究活動支援（人件費は上記 3）の経費以外に本学で負担）。
- ② メンター教員による研究教育面での支援。
- ③ その他、センター学際融合領域研究部門企画支援室（特任教授を含む専任スタッフ 3 名）による支援。

## 7. 応募書類等

### 1) 応募書類

応募書類の様式については、下記の URL からダウンロードすること。応募書類は全て英語で記述し作成すること。

Word 版

[http://www.hiroshima-u.ac.jp/upload/0/saiyo\\_syusyoku/tenure-track/application2010.doc](http://www.hiroshima-u.ac.jp/upload/0/saiyo_syusyoku/tenure-track/application2010.doc)

PDF 版

[http://www.hiroshima-u.ac.jp/upload/0/saiyo\\_syusyoku/tenure-track/application2010.pdf](http://www.hiroshima-u.ac.jp/upload/0/saiyo_syusyoku/tenure-track/application2010.pdf)

- [1] 履歴書
- [2] 業績リスト
  - ※主要論文（5 編以内）のコピーを添付すること。
- [3] これまでの研究概要
- [4] 本学における研究計画
- [5] 大学院教育に関する抱負
- [6] 所属を希望する大学院研究科
- [7] 推薦者リスト※ 2 名記載
- [8] 推薦状※ 2 名分

### 2) 問合せ先

センター学際融合領域研究部門企画支援室 E-mail : [hutt-qa@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:hutt-qa@office.hiroshima-u.ac.jp)

### 3) 応募に係る個人情報の取扱い

応募に係る個人情報は、個人情報保護法及び本学規則に基づいて適切な取扱いをする。応募の事実は非公

開とするが、選考に必要な範囲において照会等を行うことがある。また、応募書類は返却しない。

## 8. 応募締切等及び審査

### 1) 応募締切

2010年9月30日(木)17時【日本時間】

### 2) 応募書類提出先

応募書類を全て英語で記述した上で、PDFファイルにし、E-mailに添付して下記のアドレス宛に送付すること。E-mailの件名は、“HirodaiTAppl.”の文言の後ろに応募者の姓名を括弧書きで加えたものとする(例えば、山田太郎さんの場合は、HirodaiTAppl. (T.Yamada)となる)。

センター学際融合領域研究部門企画支援室 E-mail : hutt-ent@office.hiroshima-u.ac.jp

容量が10MBを越えると受信できないので、その場合にはメールを分割して送付すること。その際、E-mailの件名の最後に、1/2、2/2など応募書類の分割数が分かるようにすること。また、圧縮ソフトは使用しないこと。

なお、折り返し受理通知のE-mailを返信するので、必ず確認すること。

### 3) 審査スケジュール

#### ① 第一次審査(書類選考)

※ 選考結果は、2010年10月中旬に本人宛E-mailで通知(第一次審査合格者には、第二次審査(面接)の日時等を併せて通知)。

#### ② 第二次審査(面接)

※ 面接では、研究実績及び研究計画に関するプレゼンテーションを行う。このプレゼンテーション及び質疑応答は、全て英語で行う。

※ 旅費は本学規則に基づき支給。

※ 審査結果の通知は2010年10月末を予定。

### 4) 審査基準

第一次審査は、研究業績及び、研究計画の新規性・実現性の観点から評価を行う。第二次審査は教育の観点を加え、研究業績、研究計画、コミュニケーション能力から総合的に判断。なお、審査の結果、同等の評価であると判断された場合は女性研究者を優先。

(参考)

広島大学ホームページ <http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html>

<本事業に関する大学院研究科のホームページ>

- ・大学院総合科学研究科 <http://www.hiroshima-u.ac.jp/souka/>
- ・大学院理学研究科 <http://www.hiroshima-u.ac.jp/sci/>
- ・大学院先端物質科学研究科 <http://www.hiroshima-u.ac.jp/adsm/>
- ・大学院工学研究科 <http://www.hiroshima-u.ac.jp/eng/>
- ・大学院生物圏科学研究科 <http://www.hiroshima-u.ac.jp/gsbs/index.html>